



# 乙島っ子

令和3年度 NO. 49

令和4年 2月 3日 倉敷市立乙島小学校

## 「食育」の本質は、…「感謝」かな

「学校給食週間」には、給食委員会による探究的な学びの成果も、お昼の放送で発表がありました。追究した内容は、「牛乳、大豆」「地場産物、栄養素」「調理設備、給食室」…、児童は、こうした「もの」の追究を通して、「生産する」「献立作成」「衛生管理」といった「こと」に気付き、さらには、「こと」の追究から、「農家の人たち」「栄養教諭」「調理場の先生」という「ひと（の思いや願い、生き方）」に気付いていくのです。

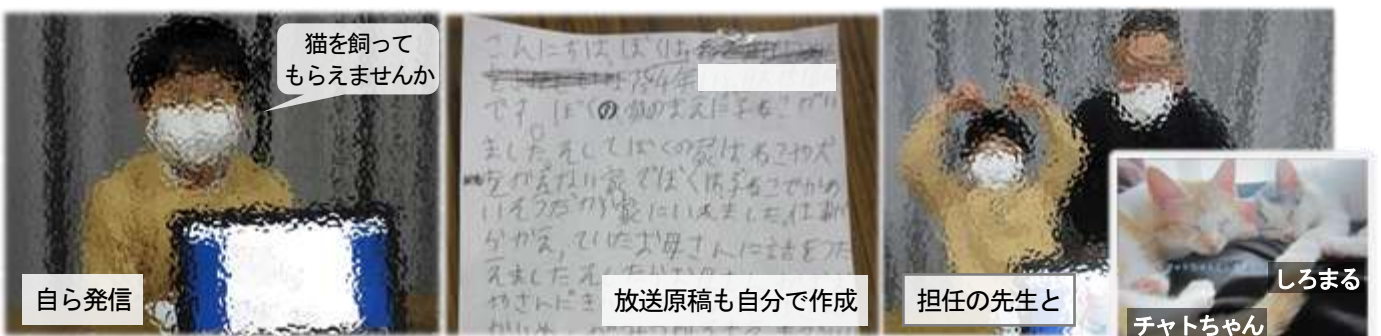


「ひと」に気付いた児童は、その思いに報いようと、その後の生活において「残さず食べる」など「実践」しようとしています。そこに、「感謝」という「食育」の本質が垣間見えるのです。



## これぞ、「リアル」な探究的な学びの姿！

2月2日（水）のお昼の時間、4年生児童による「飛び入り」放送が行われました。自宅で保護してきた猫を飼ってもらおうと、自分でプレゼン計画を立て、原稿を作成し、「実践」を果たしました。すばらしい「探究」の姿です。



※ カラー版を Web ページに掲載しています。ご覧ください。→[http://www.kurashiki-oky.ed.jp/otoshima-e/letter\\_3\\_2\\_2\\_3.html](http://www.kurashiki-oky.ed.jp/otoshima-e/letter_3_2_2_3.html)